



国税庁 徴収部 徴収課
特別調査係

金光 晴香

平成 29 年入庁

公平性の確保のために

国税庁徴収課の役割とは

申告された国税は、国庫に納付されて初めて歳入となります。滞納となった国税は、期限内に国税の納付を行っている大多数の納税者との間の公平性を確保する観点から、国税局や税務署において早期の着手・保全に努めています。

国税庁徴収部徴収課は、全国の国税局や税務署が行う滞納国税の徴収に関する事務の指導や施策の企画・立案などの業務を担当しています。

係員、日々の業務。

公売という制度をご存知でしょうか。公売は、差し押さえた財産を強制的に売却して、その代金を納税に充てるという制度です。現在私は、民間のオークションサイトを活用した「インターネット公売」に関する業務を担当しています。

公売は、滞納者の意思にかかわらず売却するものであり、一連の手に高度の適正性が求められます。このため、売却に至るまでのプロセスは国税局や税務署の地道で確実な手続の積み重ねです。私は、インターネット公売に関する資料の記者への発信や参加者・職員の声を取り入れて利用しやすい環境を整備する、といった取り組みをしていますが、より効果的・効率的に実施する方法がほかにないか、日々、思いを巡らせています。

総合職の魅力

入庁1年目は海外の税務当局へのヒアリングを通じた外国の税務執行体制の調査を担当していました。短いスパンで専門領域が全く異なる部署へ異動することは、初めての業務に対する戸惑いや自分の経験・勉強不足を痛感し、苦労も多いですが、異動先において様々な業務や異なる立場を経験し、多くの人と出会い、自分自身を成長させることができることは、総合職の魅力の1つだと思います。皆さんとの出会いを楽しみにしています。



国税庁課税部審理室（兼）
法務省訟務局租税訟務課

吉岡 鮎美

平成 27 年入庁

課税の終着点である 税務訴訟とは

税務訴訟はチーム戦！

報道だけでなく、ドラマや映画の題材としても話題になる「訴訟」。実は、個人や会社だけでなく国（法務大臣）も当事者になります。しかし、無数の訴訟がある中、法務大臣は1人です。そこで、国の「指定代理人」が代わりに法廷に立ち、訴訟手続を進めています。

課税処分や徴収手続がされ、納税者がそれを法廷で争う場合には、税のスペシャリストである私たち国税職員と、訴訟担当の法務省職員が1つの「指定代理人」チームを組みます。税務訴訟の複雑化・多様化が進む中で、現場の国税職員による課税判断の正当性を主張し、課税処分等の適法性を立証するため、チーム一丸となって日々奮闘しています。

私は現在、法務省職員の立場から、裁判所への出廷や書面作成だけでなく、全国の様々な税務訴訟事件について、国税庁と協議を行いながら、訴訟追行の方針や法令解釈等に対する指導を訴訟担当者へ行っています。

行政のコンプライアンス機能を強化 ～予防司法支援制度～

国を当事者とする訴訟は、結果によって、我が国の行政、政治、経済等にも影響を及ぼします。そのため、紛争を「未然に防ぐ」ということも重要です。

各府省庁が、これから立案・実行する施策や、行政機関による処分等に関する法律上の問題について、事前に検証し、法務省へ意見照会をすることで、紛争が未然に防止され、ひいては政府全体のコンプライアンス機能の強化にもつながります。この事前の意見照会制度を、「予防司法支援制度」といいます。

国税庁も、課税処分等に係る法律上の問題ばかりではなく、新しい制度の創設に関する法令解釈について意見照会を行うことがあります。その場合、法務省としての法律的理解を考え、助言をすることで、結果的に外の立場から国税庁の施策にも携わることとなり、税務行政の広いつながりを感じます。

今後も、国税庁総合職員として、多角的な視点やリーガルマインドを修養するため、勉強の日々が続きます。

審理室 国税に関する法令の解釈・適用や、不服申立て、訴訟に関する事務を担当するセクションです。課税訴訟について、法令解釈や訴訟維持などの観点から、対応方針の検討・指示を行います。近年は、租税回避や複雑な国際取引に関する事件などの大型・困難な事案が増加しており、税法の解釈や適用、訴訟の場面における税務分野の専門家の役割が重要となっています。

国税不服審判所 国税庁の特別機関として、執行機関である国税局や税務署から分離された第三者的機関として設置されています。国税不服審判所は、税務調査の結果に納得できず、不服申立てを行った納税者と原処分庁（税務署長や国税局長など）の双方の主張を聞き、必要があれば自ら調査に行き、公正な立場で審理をした上で、税金の賦課・徴収の処分を取り消すかどうかの裁決を行います。裁決は、行政部内の最終判断であり、原処分庁は、これに不服があっても訴訟を提起することはできません。